

脆弱性診断サービス提供の支援に「Tao RiskFinder」 高品質で競争力のあるサービスを実現

情報セキュリティの専門サービス企業、グローバルセキュリティエキスパート株式会社では、スマートフォンの急激な普及に伴い、「スマホアプリ」の脆弱性診断サービスをいち早くリリースした。競争力のあるサービスを高品質に実現するため、業務の一助にタオソフトウェア株式会社のアンドロイドアプリケーション、脆弱性診断 Web サービス「Tao RiskFinder」を導入。これにより、新サービスのビジネス促進に貢献している。

課題

- スマホアプリ脆弱性診断サービスを高品質に展開したい
- 手動のみの診断は工数が膨らみすぎて、非現実的な価格設定に
- ツールを自社開発する時間的な余裕がない

解決

- 高品質で競争力のあるサービス投入へ
- 分かりやすい画面で診断のための素材を網羅的に提示
- 全体サーチなど人間が苦手とする作業を適切にフォロー

「スマホアプリ」の脆弱性診断 どのようにサービスを展開するか

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（以下、GSX）には、大きく 3 つの事業がある。その中でも「TIGER TEAM SERVICE」は、豊富な経験と高度なセキュリティ技術を持った専門家がチームを編成して行う同社のシステム脆弱性診断サービスだ。ネットワークを外部から検査し、セキュリティホールと呼ばれる不正アクセスが可能な欠陥を検出してレポートするのだ。同社 事業開発部 マーケティング室マネージャ 橋本 英利氏は、このサービスの特長を次のように語る。

「ポイントは、GSX の専門コンサルタントが手動オペレーションによって診断を実施していることです。これによって表層的な診断だけでなく、より深いレベルの診断を実現しています」

同サービスでは、スマートフォンの分野においても、いち早く脆弱性診断サービス「スマホアプリセキュリティ診断」の開発に着手した。これを実現するのに、同社はプログラムの入力と出力に着目したブラックボックステストのみならず、プログラムの内部構造に着目するホワイトボックステストも重要であると考えた。特にアンドロイドアプリは、エンドユーザーにプログラムそのものが見えるため、念入りな診断が必要だ。ただ、ホワイトボックステストを行うためには、アプリの構造を把握するための網羅的な解析が必要であり、手動オペレーションだけでサービスを実現するとなると価格を大きく押し上げてしまう。そこで、同チームは診断の一部にツールの利用を検討し始めた。

診断素材を網羅的に提示する 「Tao RiskFinder」を採用

スマホアプリセキュリティ診断のサービス設

グローバルセキュリティエキスパートが提供する 「TIGER TEAM SERVICE」

豊富な経験と高度なセキュリティ技術を持った GSX のコンサルタントが行うシステム脆弱性診断サービス「TIGER TEAM SERVICE」。現在では、セキュアコーディング研修や脆弱性診断におけるガイドライン作成、不正アクセス対策ソリューションの導入支援など総合的なコンサルティングサービスを展開している。

www.tiger1997.jp



GSX

GLOBAL
SECURITY
EXPERTS

グローバルセキュリティ エキスパート株式会社

グローバルセキュリティエキスパート株式会社は、情報セキュリティに関するコンサルティング活動を通じ、日本経済の繁栄と社会生活の安定的発展に寄与する企業だ。同社は、情報セキュリティの問題を「人間系」「技術系」の両面から総合的に捉える。常に最新の技術を習得することにも余念なく、ハイテク犯罪やサイバーテロに抵抗しうる社会基盤の構築、企業の情報管理態勢強化の支援にも取り組む、この分野の第一人者である。

- 所在地／東京都港区西新橋 1-2-9
日比谷セントラルビル 21F
- 代表者／代表取締役社長 松本 松仁
- 設立／2000 年 4 月
- 資本金／2 億 7000 万円
- URL／www.gsx.co.jp



グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
タイガーチーム
サービス事業部
シニアコンサルタント
柏崎 央士氏



グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
事業開発部
マーケティング室
マネージャ
橋本 英利氏

計に当たっては様々なツールをその手順に組み込んでいたが、さらに業務効率と品質を向上させるための製品を探すことにした。そこで最初に見つけ出したのが、タオソフトウェア株式会社のAndroidアプリケーションの脆弱性診断ウェブサービス「Tao RiskFinder」だ。調査を始めた2013年時点で類似の製品やサービスはなく、市場で唯一の存在だった。早速同社はTao RiskFinderを試用し始め、1カ月後に採用を決定する。同社タイガーチームサービス事業部 シニアコンサルタント 柏崎 央士氏は採用の理由を次のように語る。

「TIGER TEAM SERVICEは人だからこそできる診断に力を入れており、ツールはその一助として利用したいと考えていました。そうした中で、Tao RiskFinderは自分で勝手に判断しすぎないところを評価しました。『疑わしい点は抜けも漏れもなく提示しますが、最終的な判断は人間に委ねます』というスタンスが、私たちの求める要件と合致し、また、オンプレミスでの利用も可能だったため、採用を決定しました」

高品質で競争力のある サービスの実現を後押し

2013年9月、Tao RiskFinderの利用とともに、TIGER TEAM SERVICEはスマホアプリセキュリティ診断サービスをスタートさせた。スマートフォンはますます世の中に普及し、企

業の多くがスマホアプリの開発や提供をする傾向が強い中で、このサービスはまさにニーズに合致した新サービスとして、診断依頼が引きもきらない状況になっている。

スマホアプリセキュリティ診断は、依頼を受けると、事前調整を経て、専門のコンサルタントによるおよそ3日間の診断に入る。診断はコンサルタントの手動オペレーションによる動的解析を中心に、Tao RiskFinderによるレポートを参照しながらの解析によって行われる。これらの結果を元に最終的な報告書を作成する。「Tao RiskFinderは、画面が整理されていて非常にわかりやすい。見ただけでどう操作するのかが分かるのいいですね。解析で得られた多種多様な情報が整理されているので、動的解析においても役立っています。中でも、プログラム全体をサーチして特定APIを抽出する機能などには大いに助けられています。解析やレポート作成にかかる時間は長くとも1分程度と十分に短く、業務効率化に貢献しています」(柏崎氏)

TIGER TEAM SERVICEは、Tao RiskFinderを利用することで、時代のニーズに合ったスマホアプリセキュリティ診断サービスを、競争力ある価格でスタートできた。これには、診断プロセスの効率化が大きく寄与している。「Tao RiskFinderがなければ、最終報告書作成/納品までに今の2倍のコストがかかるだろう」と柏崎氏は試算する。セキュリティサービスの実現を縁の下で支えるサービス、それがTao RiskFinderだった。

製品紹介



Androidアプリケーションの 脆弱性を診断

開発知識は不要で、アプリケーションファイルとブラウザを準備するだけで、すぐに診断することが可能です。セキュリティ事故防止に効果を発揮します。

【Tao RiskFinderの特長】

- ブラウザでファイルをアップロードするだけで、簡単に利用可能
- ソースコードは不要。アプリケーションファイルのみで診断可能です
- Webサービスなので常に最新のバージョンが使用できます
- 脆弱性に加え、マルウェアと間違えられやすい項目・品質に関する項目も検出
- 総務省の「スマートフォン プライバシー インシニアティブ」に準拠

■Tao RiskFinder 解析結果イメージ



アプリケーションの脆弱性を抜けも漏れもなく検出する「Tao RiskFinder」の解析結果(左)。
アプリケーション内で使用されているAPIなど、特定部分を検索する機能も重宝されている(右)。

■Tao RiskFinder APIの検索イメージ



お問い合わせ



タオソフトウェア株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野2-1-1 フリーアネックスビル8階
<http://www.taosoftware.co.jp/>

E-mail: info@taosoftware.co.jp
TEL:03-6802-8247
FAX:03-6802-8347